

通年

エコ・オリエンテーリング

小学生（幼稚園児～成人まで可能）

File 5 - 1: 野外活動でのワンポイント >>>>>>>> オリエンテーリングに、環境の視点をプラス

【目的】 国立赤城青少年交流の家で実施しているオリエンテーリングを生かし、周辺環境で特に注目してほしい視点をエコプラスカードとして作成。オリエンテーリングの際、事前に配布し、コースを巡視しながら自発的に学び、赤城周辺の環境に興味関心を深めてもらう。

（ねらい）オリエンテーリングを通して、周辺の自然環境に目を向けることができるようになる。

エコプラス・カード No. 1 クズ



観察できる場所： どこでもみられます
特徴： つるのさきに、大きな葉っぱが3まい、いっしょに出ています
トライ 手のひらより大きな葉っぱを、みつけてみよう！

例（カード表）

もの知り情報

マメ科の植物です。花が咲いていたら観察してみましょう。根からは、デンプンがとれ食用にされます。また、根を乾かして漢方薬とします。

つるがじょうぶで、雑草としてはびこると除草が大変です。

1876年、日本からアメリカに初めて持ち込まれ、その後はびこりがひどく、日本からの侵略的外来生物とされています。アメリカではカアズと呼ばれています。

（カード裏）

実施のしかた： 挑戦したいカードをひとり1枚選ぶ
 コースを歩きながら、カードに記載されていることをみつける
 みつけたらグループ全員で確認する
 課題を解決したらオリエンテーリングの点数を加算する「エコプラス！」
 など、団体の事前にルールを決めるとよい

指導体制：事前説明員1名、コース上の指導者3～5名 **対象人数**：最大100人程度

準備：オリエンテーリングマップ、コンパス、筆記具、エコプラスカード（カードは胸ポケットにはいる大きさに、繰り返し使えるようにラミネート仕上げにする。10種類100枚程度用意しておく）、水筒、帽子など

留意点：グループの人数を5～6名程度にする。
みつけた自然物は、グループで確認するように指導する。

プログラムの関連性：

小学校学習指導要領

生活科 内容(5) 身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。

- (6) 身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりなどして，遊びや遊びに使う物を工夫してつくり，その面白さや自然の不思議さに気付き，みんなで遊びを楽しむことができるようにする。
- (7) 動物を飼ったり植物を育てたりして，それらの育つ場所，変化や成長の様子に関心を持ち，また，それらは生命をもっていることや成長していることに気付き，生き物への親しみをもち，大切にすることができるようにする。

理科 【第3学年】B 生命・地球

(1) 昆虫と植物

身近な昆虫や植物を探したり育てたりして，成長の過程や体のつくりを調べ，それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。

ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり，成虫の体は頭，胸及び腹からできていること。

イ 植物の育ち方には一定の順序があり，その体は根，茎及び葉からできていること。

(2) 身近な自然の観察

身の回りの生物の様子を調べ，生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は，色，形，大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は，その周辺の環境とかかわって生きていること。

(3) 太陽と地面の様子

日陰の位置の変化や，日なたと日陰の地面の様子を調べ，太陽と地面の様子との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 日陰は太陽の光を遮るとでき，日陰の位置は太陽の動きによって変わること。

イ 地面は太陽によって暖められ，日なたと日陰では地面の暖かさや湿り気に違いがあること。

【第4学年】B 生命・地球

(2) 季節と生物

身近な動物や植物を探したり育てたりして，季節ごとの動物の活動や植物の成長を調べ，それらの活動や成長と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 動物の活動は，暖かい季節，寒い季節などによって違いがあること。

イ 植物の成長は，暖かい季節，寒い季節などによって違いがあること。

(3) 天気の様子

1日の気温の変化や水が蒸発する様子などを観察し，天気や気温の変化，水と水蒸気との関係を調べ，天気の様子や自然界の水の変化についての考えをもつことができるようにする。

ア 天気によって1日の気温の変化の仕方に違いがあること。

イ 水は，水面や地面などから蒸発し，水蒸気になって空気中に含まれていくこと。また，空気中の水蒸気は，結露して再び水になって現れることがあること。

【第5学年】B 生命・地球

(1) 植物の発芽，成長，結実

植物を育て，植物の発芽，成長及び結実の様子を調べ，植物の発芽，成長及び結実とその条件についての考えをもつことができるようにする。

ア 植物は，種子の中の養分を基にして発芽すること。

イ 植物の発芽には，水，空気及び温度が関係していること。

ウ 植物の成長には，日光や肥料などが関係していること。

エ 花にはおしべやめしべなどがあり，花粉がめしべの先に付くとめしべのもとが実になり，実の中に種子ができること。

(3) 流水の働き

地面を流れる水や川の様子を観察し，流れる水の速さや量による働きの違いを調べ，流れる水の働きと土地の変化の関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 流れる水には，土地を侵食したり，石や土などを運搬したり堆積させたりする働きがあること。

イ 川の上流と下流によって，川原の石の大きさや形に違いがあること。

ウ 雨の降り方によって，流れる水の速さや水の量が変わり，増水により土地の様子が大きく変化する場合があること。

(4) 天気の変化

1日の雲の様子を観測したり，映像などの情報を活用したりして，雲の動きなどを調べ，天気の変化の仕方についての考えをもつことができるようにする。

ア 雲の量や動きは，天気の変化と関係があること。

イ 天気の変化は，映像などの気象情報を用いて予想できること

〔第6学年〕B 生命・地球

(2) 植物の養分と水の通り道

植物を観察し，植物の体内の水などの行方や葉で養分をつくる働きを調べ，植物の体のつくりと働きについての考えをもつことができるようにする。

ア 植物の葉に日光が当たるとでんぷんができること。

イ 根，茎及び葉には，水の通り道があり，根から吸い上げられた水は主に葉から蒸散していること。

(3) 生物と環境

動物や植物の生活を観察したり，資料を活用したりして調べ，生物と環境とのかかわりについての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は，水及び空気を通して周囲の環境とかがわって生きていること。

イ 生物の間には，食う食われるという関係があること。

(4) 土地のつくりと変化

土地やその中に含まれる物を観察し，土地のつくりや土地のでき方を調べ，土地のつくりと変化についての考えをもつことができるようにする。

ア 土地は，礫（れき），砂，泥，火山灰及び岩石からできており，層をつくって広がっているものがあること。

イ 地層は，流れる水の働きや火山の噴火によってでき，化石が含まれているものがあること。

ウ 土地は，火山の噴火や地震によって変化すること。